

NPO ICAN アイキャンによる講演会

国際理解コースの1年生がNPO 法人 ICAN の 三矢 愛紗 さんをお迎えして、イエメンでの活動について学びました。

中東の最貧国イエメンは、2015年に世界で最も多くの人々が住みかを追われた紛争となりました。「世界で最も活動することが困難な国」(WFP)とも言われており、世界の人々にその惨状が知られる機会は依然として限られています。



生徒の感想

・私にとって今回の講演会は知らないことについて学べるとても有意義な時間になりました。このこと

をもっとたくさんの友達や家族に知ってもらい、何か役に立てたらいいなと思います。

・難民キャンプにも、電気が使えるかどうか、丈夫な建物であるかどうかなどで、格差が生まれていった。格差がなくなり、平等に暮らせるといいと思った。

・キャンプがあることは素晴らしいことだけど、人々が依存してしまうという問題もうまれると聞いて、驚いた。

・“国内避難民”という人々の存在について初めて知りました。難民については中学校での社会の授業やニュースなどで耳にしていたので知っていました。だからこそ、メディアでも国内避難民について報道し、より多くの人に知ってもらうことも大切な活動だと思います。まず、自分のできる範囲で周りに伝えていこうと決めました。